

まちの話題

町内小学生児童へ ちやぐりん寄贈

7月9日、中央公民館で「ちやぐりん8月号」の寄贈がありました。ちやぐりんとは、Child(子ども)・Agriculture(農業)・Green(みどり・自然)の3つを合わせた造語で、それらの重要性を訴えるため、農協が毎月発行している子ども雑誌です。当日は、町内の小学4年生全児童と担任用に、農協職員から山下教育長へ手渡されました。



楽しく川で遊ぶために

7月24日、白糸保育園と浜町保育園の園児が川遊び体験をしました。夏になり、川で遊ぶ機会が増えるなか、水による事故を未然に防ぐためNPO法人みずのとらベル隊が主催になり開催されました。川に行く前に白糸保育園で寸劇によって川の危険な箇所やライフジャケットの説明を受けた園児たちは、実際にライフジャケットを着て、川遊びを体験しました。また、ライフジャケットがない場合のペットボトルやお菓子の袋を使った浮かび方なども学びました。



三園合同 レクリエーション大会

7月27日、蘇陽林業者等健康増進施設で三園合同のレクリエーション大会が開催されました。これは毎年一回、馬見原・菅尾・二瀬本保育園の園児と保護者が保育園の枠を超えて交流をすることを目的としています。今年も、玉入れ、囲碁ボード、室内ペタンクなどのニュースポーツを行いました。



一緒に植えた小豆植え

7月14日、馬見原中央老人クラブの皆さんと蘇陽南小学校2年生児童による世代間交流事業が行われました。今回、行われた催しは小豆植え。2年生児童16人が老人クラブの方たちに植え方を教わりながら、小豆を植えました。実際に小豆植えを体験した児童からは、「植えるのが楽しかった」や「小豆が大きくなって食べるのが楽しみ」といった感想が聞きました。また、老人クラブの会員から、「子どもたちの元気の良い声を聞いていると、自分たちの励みになる。これからも世代間交流を続けていきたい。」といった声も聞かれました。



「山都スペシャル・セレクト」販売開始!

道の駅「通潤橋」で新商品の販売が始まりました。商品は黒米うどんやトマトのパウンドケーキなどの商品も町内の生産者や飲食店が開発したもので、町内に数多くある観光資源を外へ発信していくと商工会が商品開発や販路の拡大を支援し、商品の販売を開始。平成24年から、試食会や調理方法などの開発を進めてきました。また、販売に際しては統一のブランドマークを作成し、2年間の研究などを経て13品目の商品が完成。今回は6品目の販売が店頭に並びました。今後は販路の拡大や、更なる商品の開発を進めていきます。



宝くじ助成事業で コミュニティ活動備品を整備

コミュニティの健全な発展を図ることを目的としたコミュニティ助成事業により、上差尾自治振興区にグラウンドゴルフセットやテント、音響設備などのコミュニティ活動備品が整備されました。この事業は、宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源として実施しているコミュニティ助成事業で、財団法人自治総合センターが助成決定をおこなっています。今後の上差尾自治振興区の益々の活性化が期待されます。



★スポーツの結果★

第10回町長旗争奪ナイターバレーボール大会 平成26年7月22日(火)～29日(火)

- 優勝 下矢部西部
- 準優勝 稻生野
- 3位 大御所、下名連石



優勝した下矢部西部



準優勝 稻生野

年々、参加チームが減少傾向にある町長旗争奪ナイターバレーボール大会ですが、昨年より1チーム多い計12チームの参加で開催されました。7月22日から6日間にわたり予選と決勝トーナメントと試合を行い、各チーム日頃の練習の成果を発揮し白熱した試合が展開されました。また、決勝戦の下矢部西部対稲生野戦では両チーム激しいスパイクの打ち合いや巧みなネットプレーなどで会場を湧かせました。最終セットは接戦の末、下矢部西部が僅差で約30数年ぶりの優勝を勝ち取りました。



スパイクを放つ下矢部西部の藤山裕基さん